

# 令和6年度 上尾中学校 学校経営方針

令和6年4月1日 校長 増田 司

## 1 学校教育目標

### (1) 理念

夢に向かって努力する生徒

### (2) 教育目標

- 一 自ら学ぶ生徒
- 二 思いやりのある生徒
- 三 健康でたくましく生きる生徒

## 2 目指す学校像

市民・県民に誇れる コミュニティ・スクール 上尾中

静かで、きれいで、温かい学校

- ◎確かな学力を育む学校
- ◎地域と共にある学校
- ◎和やかで温かな学校
- ◎はつらつとした学校

### 【目指す生徒像】

- 真剣に学習に取り組む生徒
- 自分の意見や考えを表現できる生徒
- 進んであいさつをする生徒
- 自分や友達を大切にできる生徒
- 健康でたくましい生徒
- 命を大切にする生徒

### 【目指す教師像】

- 自らの人間性を磨き続ける教師
- 質の高い授業で深い学びを導く教師
- 生徒の心情を酌み取り生徒に寄り添える教師
- 自分に厳しく人に優しい教師
- 生徒と共に学び、積極的にチャレンジできる教師
- ワークライフバランスを大切にする教師

## 3 本年度の教育方針

- (1) 生徒や地域の実態に即した教育課程を編成・実施し、確かな力を育むことにより、生徒一人一人の進路実現に万全を尽くす。

- (2) ICTを積極的に活用した教科指導の充実を図ると共に、教科等横断的な教育活動を推進し、個別最適な学びと協働的な学びを実現し、近未来に必要な資質能力を育む。
- (3) 保護者、地域との連携を深め、学びのコミュニティづくりを通して、地域と共にあるコミュニティ・スクールを推進する。
- (4) 生徒に寄り添い、一人一人にしっかり向き合うことで、潤いのある落ち着いた学校生活を維持発展させる。
- (5) 教職員の働き方改革を推進し、潤いのある職場環境を実現して、職員一人一人の創意を生かした、活力のある和やかな校風を創る。

#### 4 本年度の重点取組事項

- (1) 主体的・対話的で深い学びを推進し、生徒の未来につながる力の育成。
  - ICT端末を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びを積極的に進める。
  - 地域との連携を軸に、シティズンシップ教育を系統的に推進する。
- (2) いじめ防止、不登校の減少を図る。
  - 生徒、保護者に寄り添った、きめ細かい丁寧な相談を行う。
  - いじめの早期発見・早期対応、積極的に認知し、解決に向けて取り組む。
  - 関係機関、民生委員等と連携を密にして、個々の状況に応じた必要な支援を実施する。
- (3) 市民・県民に誇れるコミュニティ・スクール上尾中の取組を推進する。
  - コミュニティ・スクールとしての積極的な情報発信を工夫する。
  - 学校と地域が共通の目標実現を目指し、協働活動を工夫する。
  - 学校区小学校と連携し、目指す児童生徒像を設定し、児童生徒の育成を図る。
- (4) 静かで、きれいで、温かい学校生活を維持・発展させる。
  - きれいな黒板、整った机、きれいな窓、ゴミのない床、整った靴箱を維持する。
  - 生徒も教師も、進んであいさつ・返事を行う。
- (5) 自らの働き方を見直し、持続可能で健全な職場をみんなで創る。
  - 計画的に休暇を取得し、積極的な健康管理を行う。
    - (特に、年休5日以上、リフレッシュ休暇・マイリフレッシュの完全取得)
  - 時間外在校等時間、月45時間を意識し、自らのワークライフバランスを見直す。
  - 業務の負担軽減のため、教育活動の見直し・改善を進める。

## 5 本年度の教育指導の努力点

### (1) 学級・学年経営

- ・学校教育目標、目指す学校像・生徒像の達成を図る学級・学年経営を推進する。
- ・生徒一人一人の多様性を認め、自己を素直に発揮させるとともに、他者に寛容な風土を醸成する。
- ・一人一人の生徒の学校生活への適応や望ましい人間関係を形成する。

### (2) 学習指導

- ・生きて働く「知識・技能」の習得  
学習の系統性を踏まえ、小中の連携を図りながら、基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着に努める。また、社会で生きて働く知識となるようにする。
- ・未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成

### (3) 生徒指導

- ・いじめを許さない気運を醸成
- ・いじめを見逃さない校内体制の構築  
いじめ防止基本方針に基づき、積極的な認知と確実な解消及び見届けを行う。
- ・自己有用感を高める取組の推進

### (4) 進路指導・キャリア教育

- ・個に応じたきめ細かい進路指導の充実
- ・生徒理解に基づくキャリア教育・進路指導の推進

### (5) 道徳教育

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育
- ・自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める  
学習指導の充実
- ・家庭・地域社会との連携

### (6) 学校教育相談

- ・すべての教育活動を通じて行う学校教育相談
- ・校内の相談体制づくりと関係機関との連携
- ・不登校対策の充実  
不登校対策委員会を設置し、未然防止・早期発見・早期支援などを組織的機動的かつ計画的に進める。

### (7) 体育

- ・運動習慣の形成や体力向上に向けた取組の工夫
- ・体育的活動時の事故防止及び学習規律の確立

(8) 健康教育

- ・すべての教職員で健康教育を推進できるような組織体制の整備
- ・9年間を見通した職に関する指導の充実

(9) 人権教育

- ・学校教育活動全体を通じた人権教育の推進  
人権課題について正しく理解し、人権感覚を身に付け、人権課題を解決しようとする生徒を育成する。

(10) 特別支援教育

- ・一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
- ・通常学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒への指導の充実
- ・通級指導教室の充実と関係学校との連携強化

(11) 国際理解教育

- ・上尾市英語力向上プランに基づく英語教育の充実
- ・異文化理解、多文化共生の視点に立つ教育の推進

(12) 情報教育

- ・各教科の特性に応じ、ICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びを推進
- ・デジタルシティズンシップ教育の推進  
デジタルのメリット、デメリットを理解し、主体的に情報社会を生き抜いていける知識や技能を習得させる。
- ・生成AIの適切な利活用の推進

(13) 環境教育

- ・持続可能な社会の実現のため、環境を守ろうとする心と態度の育成
- ・公共物や自分のものを大切にする心を育成

(14) ボランティア・福祉教育

- ・家庭や地域社会、関係団体等との連携に努め、体験活動のねらいを明確にして教育効果を高める。

(15) 男女平等教育

- ・人権尊重の精神を基盤に据え、男女共同参画社会を目指す教育の推進  
一人一人が個性や能力を発揮して、自らの意思によって行動できるよう、男女平等意識形成を高める教育を推進する。
- ・LGBTQ等の理解に努め、誰もが安心して生活できる環境の整備

(16) 学校図書館教育

- ・ 学校図書館の積極的活用と計画的な読書活動の充実
- ・ 司書教諭を中心とした協力体制を確立し、読書好きの子供の増加に努める。
- ・ 計画的な読書活動（朝読書や教師による読み聞かせ）に努める。

（１７）交流及び共同学習

- ・ 共生社会の形成を目指した教育の推進
- ・ 共に学び合い、すべての生徒に成果が期待できる共同学習の重視